

2026年3月13日

株式会社三菱 UFJ 銀行

「2026 J-Win ダイバーシティ・アワード」準大賞および経営者アワードを受賞

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一、以下 当行）は、3月13日、特定非営利活動法人ジャパン・ウィメンズ・イノベティブ・ネットワーク（略称：「NPO 法人 J-Win」）が主催する「2026 J-Win ダイバーシティ・アワード」※において、企業賞「アドバンス部門」の準大賞を受賞しました。

また、当行取締役頭取執行役員 半沢 淳一が、個人賞「経営者アワード」を受賞しました。



当行は、「世界が進むチカラになる。」をパーパス（存在意義）に掲げ、社員一人ひとりが互いの違いや持ち味を認め合いながら新しい価値を創造し、全てのステークホルダーが持続可能な未来、新たなステージへと進むチカラとなるべく、DEI（ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン）推進に取り組んでまいりました。

今回の受賞にあたって、特に評価された取り組みは次のとおりです。

1. 経営トップによる強力なコミットメントと浸透

- (1) 経営トップが多様性の重要性を深く理解し、自らの言葉で継続して発信
- (2) 経営トップ自ら「頭取・副頭取塾」を開講、全役員がメンターとなり経営幹部候補を直接育成
- (3) 継続的な女性マネジメント登用により女性比率目標 30% 目前という着実な成果

2. 女性社員へのキャリア形成支援

- (1) 全役員がメンターとして関与する「役員メンタリング」による経営幹部育成
- (2) 役員メンタリング対象者が次世代を支援する「Give Back メンタリング」
- (3) BS 職（一般職）、総合職のコース区分廃止

3. 男性社員の「自分事化」

- (1) 多くの男性社員が「自ら行動したい」と J-Win 活動に応募するなど自分事と捉える風土が浸透

今後も、多様な従業員が互いに尊重・切磋琢磨し、一人ひとりが成長・活躍する職場環境づくりに取り組んでまいります。

※ 日本企業におけるダイバーシティ推進の加速を目的に、2008年から毎年実施されている表彰制度（参考 URL : <https://j-win5.jp>）

以 上